



Bangkok Representative Office

バンコク海外進出最前線



4号店

海外に進出されている福岡銀行渡辺通支店のお取引先企業グループのご紹介です。



株式会社ウエスト

KAWANO WEST CO.,LTD.

はじめに

株式会社ウエスト(本社：福岡市代表取締役社長若山和夫)は、うどん・焼き肉・そばなど全国で約190店舗を展開する飲食店です。

店舗は日本国内のみならず、海外にも積極的に展開しております。1980年代からアメリカ・ニューヨークへいち早く進出し、現在はすし店やラーメン店など約20店舗を展開。東南アジアにおいては2015年に、タイ・バンコクに「あずま」ブランドでそば店を初出店したのを皮切りに、焼肉店などバンコク市内で6店舗を展開しております。2019年2月には新たに、中華料理の業態で7店舗目を開店予定です。

今回は、株式会社ウエスト子会社でタイ・バンコクに拠点を置く「KAWANO WEST CO.,LTD.」現地責任者である川野様にお話を伺いました。

1 タイ進出の経緯とタイのレストランでのこだわり

ータイ進出の経緯

元々は、ニューヨークのウエスト米国法人である「イースト」で10年程、飲食店運営に携わった経験がありました。日本帰国後、新しい海外展開を本格的に考えていく中で、経済発展の著しい東南アジアが面白いのではないかとの判断から、2014年にベトナム・オースカンボジアなどを視察して回りました。最後に訪れたのがタイ・バンコクだったのですが、一番活気のあるマーケットであると感じました。当時、バンコク市内



には1,500店舗以上の日本食レストランが進出してしまったので競争の激しい市場でもありましたが、本場に美味しいもの・質の高いサービスを提供すれば、まだまだチャンスがありそうだと判断し、タイ・バンコクの進出を決めました。また、タイで事業を始めるにあたっては、タイ側のビジネスパートナー選びが大切になってきます。幸いにも信頼できるビジネスパートナーに恵まれた事も、タイへの進出を決めた大きな理由の一つです。

タイへの出店を決めてからは、開業準備のためすぐにバンコクに渡りました。2015年4月からバンコクで生活を始めてから約8か月後の、2015年12月に1号店「生そばあずま」をオープンした訳ですが、実際に現地で生活をして初めて気付く事も沢山ありました。特に、店舗の場所選びに関しては、不動産業者は通さずに、自分自身で街中を歩きまわり、時にはバイクタクシーを使って物件探しをしました。同じ場所でも、時間帯によって人の流れ歩いている年代層も違いますし、平日・休日でも全然違ってきます。実際に現地で生活をしてみて、自分の肌で現地の空気を感ずる事が大切だと感じました。

タイのレストランでのこだわり

日本国内では、近年、千葉県を中心に「生そばあずま」で、そはの業態も展開しています。

日本では当然、うどん店は冬場が繁忙期、そは店は6月〜8月が繁忙期となるのですが、年間の平均気温が30℃のタイにおいては冷たいそばが受け入れられるのではないかと判断から「生そばあずま」とい

うそばの業態を軸に展開しています。

食材については、そば粉・そばかえし・鰹節は日本のウエストと同じものを日本から輸入しています。焼肉店で提供するメインの「牛肉」は国産和牛を提供させてもらっています。但し、輸入食材だけにこだわると販売価格も高くなりますので、高品質で低価格な「鶏肉」「豚肉」「野菜」は現地産を利用してリーズナブルな販売価格で提供させてもらっています。

また、社員教育、職場環境の充実にも力を入れています。離職率の高いタイにおいては、タイ人の従業員に気持ち良く働いてもらう事が日本以上に大切です。本社長からの教えでもあるのですが、ウエストで働く事で従業員の生活が豊かになって欲しい、「クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)」を高めるために、ウエストで働いてもらっている、という思いです。

働き甲斐のある職場、という意味では徐々に従業員にも浸透してきていると感じます。これまで、店舗のオープニング時には、日本から教育チームが来て、サービスマスター等の研修を行ってきたのですが、今ではその教育を受けたタイ人のオープニングスタッフ、各店舗の教育リーダーとして率先して新しい社員の指導にあたってくれています。

バンコクで事業を始めて約3年が経ちますが、現在の6店舗全て、お客様はタイ人が5割以上を占めています。当初は日本人をターゲットに展開してきましたが、今では、日本人が連れてくるタイ人の友人・職場仲間から「あずま」を発信してもらい「あずま」がタイ人にも受け入れられてきていると感じています。

2 今後の事業展開

東南アジアでの店舗展開をさらに拡大していきたいと思っています。まずは、2019年2月にバンコク市内で開業予定の商業施設内に、新たに中華料理の業態を出店予定です。

定期的にベトナム・マレーシア・シンガポールにも視察に行っていますが、良いパートナー・良い場所が見つかればタイ以外の東南アジアへの展開も視野に入れていきます。10年で30店舗以上を目標にやりたいと思っています。

最後に

日系企業の進出が進むタイでは、現在約7万人の日本人が生活しているといわれています。タイ人富裕層や中間所得者層の拡がりもあって、タイ全土における日本食レストランはここ数年増加の一途をたどり、2018年には初めて3,000店舗を超えました。一方で、競争の激しい市場であることから、撤退を余儀なくされる店舗も少なくありません。

タイの日本食レストランにおいては、在留日本人に支持してもらうことはいままでもありませんが、いかにタイ人のお客様を取り込むかが重要ともいわれています。富裕層や中間所得者層の増加により、日本に観光に訪れるタイ人の数も増え続けています。本物の日本食の味を知った、また、ローカルフードよりも高い日本食を食する事に抵抗の無い富裕層や中間所得者層からいかに受け入れられるかが鍵となってきます。ウエスト様が、タイ・バンコクでご商売を

開始されてから約3年。当初はタイ人のお客様が1〜2割だったものが、今では5割を超すまで現地の方々にも支持されています。バンコクでの認知度は間違いなく浸透してきていると感じます。今後、新たな事業展開も視野に入れられており、国内のみならず海外でも益々発展されることを祈念しております。

(バンコク駐在員事務所 水田英男)



▲海老天丼セット



▲1号店



▲2号店

PROFILE

現地法人：KAWANO WEST CO.,LTD.
住 所：9/1-2 Sukhumvit33,
Klongton-Nua Wattana
Bangkok 10110 Thailand
T E L：+66-2-259-5190

親 会 社：株式会社ウエスト
住 所：福岡市博多区三筑1-5-8
T E L：092-582-3911